

Ochanomizu Bible Institute

OBI

お茶の水聖書学院

NEWS

〒101-0062
東京都千代田区神田駿河台 2-1
OCCビル2F
TEL 03-3296-1005
FAX 03-3296-4641
Email: office@obi-net.com
Web: /www.obi-net.com
お茶の水聖書学院
お茶の水聖書学院後援会・同窓会

『二つの伝統の融合と発展』



教務主任
福井 誠

お茶の水聖書学院（OBI）の働きのために、いつもお祈りいただきありがとうございます。

本ニュース4頁でも触れられて

いることですが、世良田湧侍前学院長が、去る6月23日に天に召されました。主のみこころにより天の栄光に迎えられたと思いつつも、まだまだ元気に教鞭を取っておられましたので、突然の感も強く、正直なところ残念に思わされてもいます。

世良田前学院長は、初代の故増田学院長の働きを継承し、お

茶の水クリスチャンセンター（OCC）とOBIの統合に尽力されました。また、旧約聖書に関心と熱意をもって、弛まず研究を重ね一般信徒にわかりやすく語ることに努力をしておられました。身近でお仕えしていた私にとっては、そうした一つ一つのことが懐かしく思い起こされます。先生のこれまでのお働きに心から感謝しております。

OBIが、こうしてOCCの事業グループの一つとして統合され早や2年となります。この間、宣教を中心とする働きを築き上げて来たOCCの文化・伝統との摺り合わせも進んで、今やOCC・OBIとしての新しい聖書教育の在り方が導かれていくようになります。そもそも、OBIの働きは、狭い意味での献身者を育成する神学教育というよりは、幅広い信徒層を対象とし、主の働き人として整える教育を目標としています。それは、ド

ラッカー流に言えば「顧客創造」を必要とする働きで、つまり、必ずしも神学教育を受けたら意識している人ばかりではない、いやそんなことは考えたこともない人々を動機づけ、牧師や教会の支え手として整えていく働きです。

また、OBIは、設立当初から、教職者へのフォロアップ的なセミナーを開催してきた歴史があります。福音派の一致が意識化される時代の中で、教職者たちが互いに学び合い、よく知り合い、一致して宣教に臨むように励みます、そんな場を、これからのOBIは他の神学校との連携の中で提供することが期待されているのかもしれない。

今後もOBIは藤原導夫学院長のリーダーシップの下で、さらなる展開を続けてまいります。が、ぜひ続けて、このユニークな働きを理解し、ご支援、ご協力いただけますようによりしくお願いいたします。

教会音楽デー

7月2日(土) 午後1時より「みことばこそ歌いましょう」と題して、教会音楽科公開講座が行われました。講師に日本同盟基督教団追浜聖書教会音楽主事であり、聖書宣教教会音楽講師の石川由紀子先生をお迎えしました。みことばそのものを歌うことを通して、主のご計画の醍醐味を味わい学ぶ時を持ちました。

必要なことかなと思ひ参加させていただきました。

当日は「みことばを聞く」「味わう」というより、みことばをメロディーにのせることに四苦八苦しました。最初は日本語をメロディーに押し込んでいくという感覚でした。

先生がおっしゃっていたように、ことばが短いとなかなか覚えられないが、長いと最初は駄目でも、そのうちメロディーを覚え、だんだんと詩・ことばに集中することができると感じました。歌っていくうちになんとなくそのことが解ってきたように思ひ、何か不思議な感覚を覚えました。

どのような講義が始まるのかちよつと不安でしたが、讚美のレッスンを受けている者にとつては



教会音楽科
岩淵秀子

みことばが心の中に宿る

みことばを聞くことにより、子供たちは想像をめぐらせ、疑問を持ち、そこから親子の会話が生まれていき、みことばが持っている意味を理解していくのですね。大人も同じです。子供のような清い素直な心で歌えたら、神様は何かを添えて私に語りかけてくださるのでしょうか。

神様の大切な言葉だから讚美し、歌うことによって救いと平安が与えられる。それは心の中に宿り、どこへでも私と一緒にいるだけ。感謝です。

まるでそこにいたかのような臨場感



教会音楽科
関守栄子

うという試みです。聖書の最初の賛美歌と言われる出エジプト記15章1節〜18節(ジュネーブ詩篇歌一五〇編の旋律)を、みことばを味わいつつ賛美しました。

主はイスラエルの民を不思議な御業をもって、パロの追っ手から救い出してくださいました。主に感謝し先頭に立って賛美するモーセの姿、いつまでも鳴りやまない民たちの応答の賛美、まるで私自身がそこにいたかのような臨場感を体験しました。

教会音楽デーにおいて、聖書そのままのことばで詩篇を歌うことに情熱を燃やしておられる石川由紀子先生が「みことばこそ歌いましょう」と題して、演習と講演をしてくださいました。

ベッカー詩篇歌・ジュネーブ詩篇歌の旋律に、一音符一ひらがなの日本語訳の歌詞ではなく、聖書のみことばそのままを挿入して歌

「賛美とはなにか」みことばそのものを歌う。神のことばゆえに、人はみことばによって救われ成長させられるゆえに歌う。と教えてくださいました。

詩篇は、神への感謝と賛美だけでなく、私の祈りでありまた日々の悔い改めでもあります。その詩篇を聖書そのままのことで歌う実践の一步として、先ずは詩篇1篇と23篇から始めさせていただきたいと願っています。

柏木道子先生 特別公開講座



柏木道子先生

6月14日(火) 午後1時より柏木道子先生をお迎えして、

I 「主にあつては人生の秋にも春が来る」

II 「苦難の中での希望のありか」と題して特別公開講座を行いました。具体的な証しを交えての励ましに満ちた講演をいただきました。

与えられている事も もう一度聖別して用い させていただく



第21回
聖書科卒業生
宮内芳枝

昨年の柏木哲夫先生の講演につづき、今年は奥様の道子先生のお話を聴くことができ、感謝しています。このタイトルにも、たいへん魅せられました。

子ども達も巣立ち、人生の秋から冬に向かっていく私も、何か新しいことを始めたいという思いは全く無く、今までいただいた物を深めました。「信仰の原点にもどり、与えられている事をもう一度聖別して用いさせていただく事の大切さ」を示され、私自身の自己吟味と共に、家族が「主にある平安」(柏木先生のおっしゃる「主に在る気楽さ」に通じると思うのですが)を知ってほしいという気持ちが強くなりました。

講演後に読ませていただいた「育てるいのち 看取るいのち」からも、私の、夫への自己主張の強さと愛に根ざした譲り心の足りなさを、痛感しております。夫と共に主を仰げる日を祈りつつ、日々の歩みの中で変えなくてはいけない事を気づかせて

いただき、改めて行きたい、と思っています。

「主にあつては」が鍵

— 今以上に神の偉大さ、
素晴らしさを知りたい —



聖書科
基礎コース正科
田村雅志

6月14日(火)に柏木道子先生をお招きして、「主にあつては人生の秋にも春が来る」のテーマで特別公開講座が開催されました。私自身、人生の秋の頃を歩んでいる者として、興味深いテーマに期待を持って出席させていただきました。

喜び、感謝、悲しみ、怒り、疑問等々、様々な経験をし、体力的な衰え、限界を覚えつつ、人生とは？信仰とは？これでよいのか？等と、現実を見ながら、また、過去を振り返

りながら、思いにふけることが時々ある最近の私でした。

「あなたは私を多くの苦しみと悩みに、会わせなさいましたが、私を再び生き返らせ、地の深みから、再び私を引き上げてくださいます。」(詩篇71篇20節)

人生の秋にも春が来るための条件は「主にあつては」であり、神を信じる者は常に希望があることを教えられました。改めて、信仰の原点に戻り、全知全能の神を信頼し、今以上に神の偉大さ、素晴らしさを知りたく願いました。そして臨終の時には真実の神に護られ、導かれたことを感謝して、永遠へ出発させていただきたいと思いました。



6月14日(火)
OCC 8階チャペルにて

学窓トピックス

● 6月14日(火) 柏木道子氏を迎えて、「特別公開講座」を開催しました。参加者一〇六名、「主にあっては人生の秋にも春が来る」「苦難の中での希望のありか」の二つをテーマにご自身の経験を踏まえて語ってくださいました。

● 7月2日(土)、石川由紀子氏を迎えて「第17回教会音楽デー」を実施しました。参加者21名、「みことばこそ歌いましょう」をテーマに詩篇を歌い、主のご計画を想う素晴らしい時となりました。

● 11月12日(土) 加賀清孝氏(バリトン歌手)を迎えて、「あふれる讚美をあなたに」をテーマに「秋のコンサート」を開催します。OCC8Fチャペル、開場13時30分、開演14時からになります。ご来場をお待ちしております。

● 後期入学生を募集中です。詳しくは事務局まで問い合わせください。電話(03・3296・1005)

「報告

前学院長・世良田湧侍先生は6月23日(木)、主のもとに召されました。

11月7日(月)、午後2時〜3時半、OCC8階チャペルにて「故世良田湧侍先生を偲ぶ会」を執り行います。

亡き先生を覚えてつつ共に礼拝の時を過ごし、思い出を語り合いますが、ご出席いただきますようご案内申し上げます。



ご献金者名 (五十音順)

(2016年4月1日)

2016年8月20日)

皆様の尊いご献金を心より感謝申し上げます。

- 阿久津千枝子 安藤良一
- 有田貞一・美榮子
- 安佛理恵 岩淵秀子
- 猪狩多佳子
- 飯島多稼夫
- 生田今日子
- 石井由紀 石塚幸子
- 伊地智恵子
- 伊藤洋子 井上春代
- 岩淵勲 植木朋子
- 上野優佳子
- 大沼恵美子
- 奥津晃・榮子
- 奥村輝夫
- 小澤紘一・ナオミ
- 小野沢恵子
- 尾原光彦 加納桃子
- 柏俣朝子 北川順子
- 鬼京由紀子
- 北城恪太郎・みどり

倉内一壽 倉沢薫代

佐藤敬 佐藤光

島田英敏・仲世

嶋崎岳史 島田裕子

庄司満喜子 須子都

杉山礼子 仙波昌代

田中美恵 田村雅志

戸川正子 永澤良子

中島總一郎

中平悦子 西口修八

芳賀富子 馬場満子

日名富子 福井ちよ

藤原導夫 口容子

堀肇 松田智子

山口松子 町田恵子

真鍋雅美 丸山幹夫

村上宣道 吉野俊子

米田由起子

林芳 渡邊清

協坂勇

二〇一五年度卒業生

市川北バプテスト教会

宇都宮聖書バプテスト教会

鎌倉海岸キリスト教会

鶴瀬恵みキリスト教会

中山キリスト教会